

中国語紹介

“你好！”（ニーハオ！「こんにちは。」）“谢谢！”（シエシエ！「ありがとう。」）などの中国語は、町中でも耳にする機会が多くなり、とても身近な言語となってきました。発音がくねくねしているように聞こえるのは、中国語が「声調言語」だからです。漢字一つ一つに決まった音程があり、それを声調と言います。基本声調は高、低、上昇、下降の4種類しかないので、すぐに覚えられます。「発音よければ半ばよし」と言われる中国語。そのなかで、声調がもっとも重要なポイントですので、これさえ押さえれば、中国語はあなたのも物と言っても過言ではないでしょう。

中国語は日本語と同じように漢字を用いるため、日本人にとってなじみやすい言語の一つです。文法的には、日本語のような「てにをは」がなく、欧米言語のような「性」や「格」、「数」の区別、「時制」などによる語形変化もありません。その代わりに、語順（語の並べ方）が大事なので、それをしっかり覚えれば大丈夫です。

基礎A、Bの授業では、日本人教師と中国人教師がそれぞれ週1回授業を担当します。Aは文型練習と文法が中心、Bは文型練習と会話が中心です。4月-5月は発音学習期間。その後は、課ごとに、中国人教師の授業で簡単な会話練習を行ってから、日本人教師の授業で文法の仕組みについて学んでいきます。受験のための英語学習とは一味違う楽しい授業が体験できるはずです。ぜひ、一年間の学習で、「中国語を少し話せるようになった！」という感覚を体験してほしいです。

1年生の皆さんへのおすすめ：基礎A、Bと並行して、「中国語演習コミュニケーション基礎Ⅰ（前期）・基礎Ⅱ（後期）」（自由選択科目）を履修登録して会話力をさらに伸ばしましょう。



万里の長城

検定試験について

中国語検定試験（中検）

漢語水平考試（HSK）

- * 2年次後期に中検3級やHSK4級を受けられるように計画を立ててみよう。
- * 詳しくは各試験の公式HPをご参照ください。

留学について

長期協定留学（1年間）

春派遣：北京大学など2大学 説明会：前年の4月

秋派遣：復旦大学など4大学 説明会：前年の10月

短期協定留学（1ヶ月間）

8月派遣：北京大学 説明会：同年の4月

認定留学

自分で学びたい海外の大学を自由に選べる留学制度

- * 2年次の後期または3年次に留学に行こう！前の年に説明会に出てみよう。
- * 手軽に楽しめる短期協定留学がおすすめ！
- * 詳しくは成蹊大学国際教育センターのHPをご参照ください。